

## 主な導入製品

■プロダクションスイッチャ

Acuity

■ビデオサーバ

Tria+

■リアルタイムグラフィック

XPression

■カスタム制御ソフトウェア

Dashboard



## プロダクションコントロールとLED制御システムにROSS機器を採用 ファンエンゲージメントを新たな高見に引き上げる!

### Introduction

ナッシュビル・プレデターズは、1998年にナショナル・ホッケー・リーグ(NHL)に参入して以来、ブリジストンアリーナを本拠地としています。カントリーミュージックとサウスイースタン・カレッジ・フットボールの本場で新チームを立ち上げることは、多くの人にとって大きな挑戦と考えられていましたが、経験豊富なリーダーグループが一丸となって真のホッケーファン層を築き上げました。フットボール、カントリーミュージック、ホッケーの伝統を組み合わせたプレデターズのブランドを構築し、チームのオーナーグループは、南部でホッケーをプレーすることの意味を効果的に表現しています。2019年のオフシーズンには、1996年のオープン以来、ブリジストンアリーナで3回目となる映像ディスプレイと会場内エンターテインメントシステムの大規模な改修が完了しました。2019年5月、プレデターズとナッシュビル市は、ブリジストンアリーナの使用契約をさらに30年間延長し、すべての関係者が世界クラスの施設の機能とアメニティを維持することを約束しました。

### The Challenge

2017年後半にブリジストンアリーナのプロダクションコントロールルームがライフサイクルの終わりを迎え、2016年のNHLオールスターゲーム用に導入したLED制御システムも寿命がきていることが分かりました。そのためプレデターズとそのコンサルタントは、アリーナの演出システムの設備改善について話し合うため、ROSSにコンタクトを取りました。出発点としてプレデターズは、LED演出にリアルタイムのダイナミックグラフィックコンテンツを追加することを検討し、話はすぐに発展していきました。

さらにプレデターズでは、LEDディスプレイコントロールシステムの更新に加え、ディスプレイコントロールと

プロダクションコントロールルームシステム間の既存のワークフローの効率化も目指していました。最終的には、プロダクションスイッチャとショー全体をより緊密に統合し、単純な16×9のLEDボードショーからアリーナ統合ソリューションへと移行することを目標としていました。

プレデターズの経営陣が対処しなければならなかった重要な課題と期待のいくつかは次の通りです。

#### 主な課題と期待

##### 段階的な設計

プロダクションコントロールルームは、2018-19シーズンに向けて設置。LEDシステムのアップロード(コンテンツ管理とコントロール)は、1年後の2019-2020年シーズンに向けて設置。

##### テクノロジーの更新

古い1.5Gワークフローから、完全な1080p HDR対応ワークフローに移行。

##### ハードウェアの陳腐化を超えて

ハードウェアの世代に依存するのではなく、テクノロジーパートナーと共にソフトウェア主導のプラットフォームへ移行。

##### データドリブンなコンテンツの拡大

これまでのプレデターズのショーは、事前にレンダリングされたファンのエンゲージメントビデオに重きを置いていたが、今後はよりデータドリブンなコンテンツとソースへの移行を開始。

##### リアルとプリレンダリングコンテンツの融合

ほとんどのチームと同様に、プレデターズは使い慣れた事前レンダリングワークフローとリアルタイムレンダリングソリューションを組み合わせる。

**ROSS**<sup>®</sup>  
LIVING LIVE!

#### ROSS Video社

カナダのオンタリオ州イロコイに本社を置くROSS Video社は、オンタリオ州オタワに研究開発施設を運営し、ニューヨーク州、英国、オーストラリア、シンガポールにオフィスを構えています。

#### 事業内容

Rossソリューションは、Eurosport、BBC、World、SKY、Yahoo!、そして国際的なeスポーツ大会などの視聴者とマーケティングパートナーに感銘を与えています。ROSSは、カメラ、リアルタイムモーショングラフィックス、プロダクションスイッチャ、ロボットカメラシステム、拡張現実/バーチャルスタジオ、ビデオサーバ、インフラストラクチャとルータ、ソーシャルメディア管理、ニュースルームシステム、ライブイベント制作サービスなど、比類のない製品とサービスを提供しています。

<https://www.rossvideo.com>

## The Solution

2018年春、ナッシュビル・プレデターズとその設計コンサルタントは、ブリジストンアリーナのプロダクションコントロールルームとLEDディスプレイ制御システムの中核にROSS機器を採用することを発表しました。これにより、両方のシステムの共有インフラストラクチャを介してアリーナ統合ソリューションが作成され、プレデターズのプロダクションは、試合中のプレゼンテーションの創造性とファンエンゲージメントを新たな高見に引き上げることができます。

また、リアルタイムレンダリング機能により、「Stars of the Game」グラフィックは、プリレンダリングされたクリップではなく、発表時に生成されるようになりました。これによりレンダリングにかかる時間が短縮され、クリエイティブチームは他の作業に専念できるようになりました。

プレデターズは、すべての新しいハードウェアに加えて、XPressionテンプレートとDashBoardカスタムコントロールパネルの作成を支援するために、Rossのクリエイティブ部門であるRocket Surgeryと提携しました。Rocket Surgeryは、Predatorsの内部デザインスタッフと協力して、スタイルガイドとコンテンツを新しいテンプレートとグラフィックに実装します。また、システム全体を起動し制御するための複数のカスタムDashBoardパネルも作成しました。DashBoardパネルの1つはプロデューサー・ステーション専用で作られ、オペレーターがRossの機材一式と照明システムなどのサードパーティーの要素を制御できるようにしました。これにより、プロデューサーはボタン1つでゴールや勝利のための「BIG MOMENT」テイクオーバーを即座にトリガーすることができるようになりました。

## The Impact

プレデターズの制作チームは、アリーナ統合ソリューションのワークフローにすぐに慣れ、このシステムが提供する比類のない創造性と柔軟性に取り組んでいます。

この新しいプロダクションシステムで最も印象的なのは、リアルタイムのデータとユーザ入力に支えられたアイスプロジェクトシステムのクリエイティブな活用です。

DashBoardコントロールシステムに接続されたXPressionシステムによって、氷上に投影されるすべての要素は、LEDディスプレイのコンテン



ツだけでなく、照明やオーディオシステムにも直接リンクし、シンクロしたショーアップを可能にします。また、スタジアムのLEDストリップにもXPressionのコンテンツが供給され、システム全体とリンクしています。このシステムにより、グラフィックのレンダリング作業が軽減されたことで、クリエイティブチームの貴重な時間を、パッドドロップ前のオープニング映像などの継続的な改良に充てるできるようになり、これまで1シーズンに1〜2本だったハイブビデオは、今では週に2本作れるようになりました。

こうしたキャパシティの増加により、クリエイティブチームはシーズンを通して、ストーリーに沿った新しいコンテンツを定期的に制作し、ファンや選手を驚かせることができるようになりました。

「プロダクションコントロールとLEDの統一システムを使う醍醐味は、そのカスタマイズ性にあります。どんなシナリオでも、クリエイティブ全体をまとまった形で統一的に機能させることができます。」

「過去数年間、Rossと仕事をした中で、Rocket Surgeryは夢のようなパートナーでした。私たちのビジョンを、彼らの製品で現実のものにしてくれました。彼らのシステムを導入することで、よりクリーンで効率的なショーを運営することができますし、ショーをより良くする方法について、常に我々と対話をしてくれます。」

「ROSSシステムで提供される完全なプロダクション・コントロールは、私たちのショーをファンとのよりインタラクティブなものにする能力を与えてくれます。私たちはファンをこの体験に没頭させ、何年も記憶に残るような特別な体験を提供することができるのです。」

### グラント・ティネルギエン

クリエイティブコンテンツマネージャー

2022年〇月作成